

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院



2月1日開院10周年記念式が行われました

ほんわか検査室を目指して

臨床検査室長 塚田 孝法



公立丹南病院に11回目の春がやってきました。ぽかぽか陽気に誘われて、病気の虫もどこかに飛んで行っていただけとありがたいのですが、なかなかそうはいかないようです。当然、わたくしが所属する臨床検査室にも11回目の春が訪れまして、その間、行っている検査の内容はあまり変わっていないのですが、皆さまの丹南病院への関心や病气への関心が増すにつれ、徐々に検査数が増加してきました。増員や効率化などで対応してきましたが、待ち時間や不快感などのご迷惑をかけることもたびたびあるかと思えます。

さて、検査室に関連する待ち時間としては、血液検査の結果が出てくるまでの結果待ちや、超音波検査などの順番待ちなどがあげられます。当然われわれは忙しい時にも正確に確実に仕事は進めていかなければなりません。忙しいから間違えたや、忙しいからするのを忘れちゃったは言語道断です。で、どうしても込み合う時の待ち時間にはご容赦いただきたいのですが、その忙しいのがオーラに表れて、待っていたにいては皆様が不快にさせてはダメかなと感じています。忙しい時にありがちですが、面と向かってカリカリされるのも待ち時間をより長く感じさせる一因かとも思います。

そこで、なかなか難しい事ではありますが、忙しい時にこそほのぼの笑顔で一声かけられる、いっしょに検査している間は和やかな感じが得られるような、会話であったり、雰囲気であったり、ほんわかを感じをかもし出していかれたらなと思っています。ちょっと書いている事と違うぞと思う事があれば、どんどん声をかけてください。新しい知識の吸収と、忙しくてもほんわかの実践に努めていきますので、公立丹南病院の臨床検査室を今後ともよろしく願います。

褥瘡対策委員会の紹介

皮膚科 高嶋 渉

褥瘡対策委員会は院内で唯一、看護師が主体となり活動している委員会で、委員長はずっと看護師から選出されています。看護師のほかには、医師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、介護福祉士も参加しています。

主な活動内容は、入院時に行う褥瘡危険因子の評価と、マットの選定です。

褥瘡危険因子の評価とは、関節拘縮や骨突出があるかなど、褥瘡発生の危険度を評価し、点数化する作業です。これを小児以外の入院患者全員に行っています。

マットの選定というのは、ベッドにのせるマットを、どのマットにするか選定する作業です。当院では通常の硬いマット以外にも、8種類のマットを用意しています。手術後に使用するタイプ、ずっと寝たきりのときに使用するタイプ、たまに起き上がる人が使用するタイプなどがあり、入院の状況と褥瘡危険因子の点数に応じて最適なものを選択します。

褥瘡委員の看護師は各病棟や透析室、手術室に2名ずつ（1名のところもあります）、通所リハビリ施設のなごみの里にも介護福祉士が配置され、各部署で勉強会を開いています。そのため、看護師全員、いつ入院があっても褥瘡危険因子



評価とマット選定が出来るよう訓練されています。

当委員会は、マットを充実させるだけでなく、それを使いこなすための看護師教育や、体位交換の訓練、クッションの使い方、麻酔が効いた術中術後の褥瘡予防などにも力を入れています。

全国の一般病院における褥瘡有病率（持ち込み褥瘡と院内発生の合計）は、2006年が2.24%で当院は4.85%でしたが、2009年には1.58%と改善し、また、褥瘡の院内発生率だけをみると2006年の2.94%から2009年の0.34%まで改善しています。

成果は順調に上がっており、褥瘡の発生は年々減少しています。この効果を励みに日々がんばっています。



看護フェアのご案内

やわらかく暖かい太陽の光がさし、その光が透かして見える若葉が美しい季節になりました。新しく進学した子どもたちや就職して新しく社会人になられた人達も、夢や希望に満ちて元氣いっぱい毎日を過ごされていると思います。

さて、皆さんは「看護の日」ってご存じですか？ 21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要です。このことを老若男女問わず誰もが認識するきっかけとなるように、1990年旧厚生省は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「看護の日」として制定しました。今年は、制定されてからちょうど20年目になります。「看護の日」にちなんで、毎年気軽に看護にふれていただける楽しい行事が全国各地で行われています。

公立丹南病院も毎年看護フェアを開催しており、今年も5月3日に西山公園の芝生の場で看護フェアを開催します。今年のテーマは『知っ

て守ろう、自分の健康』です。内容は、身長・体重・体脂肪・骨密度などを中心とした健康チェックコーナー、栄養・健康相談コーナー、変身・写真コーナー、健康体操コーナー、AEDと心マッサージコーナー、手洗いチェックコーナーなどです。

ご家族や友人、恋人と一緒に白、赤、ピンクのツツジが咲く西山公園を散策しながら、ぜひ当院の看護フェアにおいて下さい！お待ちしております。



公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立 丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620

ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション

〒916-0021 福井県鯖江市三六町1丁目3-16-101

TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151

メールアドレス: tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

公立丹南病院 通所リハビリテーションセンター なごみの里

〒916-0021 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242

メールアドレス: tannan-nagomi@jadecom.or.jp

